

製品名: ビグリカンウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86369

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:100-1:500
分子量	Calculated MW:42 kDa; Observed MW:42 kDa

抗原情報

遺伝子名	Biglycan
別名	PGI; MRLS; DSPG1; PG-S1; SEMDX; SLRR1A
遺伝子 ID	633
SwissProt ID	P21810
免疫原	ヒトビグリカンの合成ペプチド

背景

この遺伝子は、小型ロイシンリッチプロテオグリカン（SLRP）ファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされてい

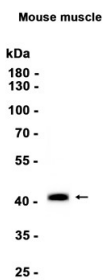
るプレプロタンパク質はタンパク質分解によって成熟タンパク質へと変換され、骨の成長、筋肉の発達と再生、そして複数の組織におけるコラーゲン線維の集合に役割を果たします。このタンパク質は炎症や自然免疫も制御している可能性があります。さらに、コードされているタンパク質は、ヒト患者におけるアテローム性動脈硬化症や大動脈弁狭窄症にも寄与している可能性があります。この遺伝子と関連遺伝子であるデコリンは、遺伝子重複の結果であると考えられています。[RefSeq 提供、2015年11月]

研究分野

-

画像データ

Mouse muscle



kDa
180 -
130 -
100 -
70 -
55 -
40 - ←
35 -
25 -

ビグリカンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス筋肉組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。